

「2015年3月期(第4回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA) では、会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった595社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、3月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

●海外旅行DIは、12月期(-27)より11ポイント悪化して-38

- ※8期連続して見通しを下回る。
- ※ヨーロッパが9ポイント続落して、6ポイントの上昇をみせたオセアニアと並ぶ。
- ※商用・視察が14ポイントの下落、シニアも6ポイント続落して主役が弱含み。

3カ月後は、踊り場へ

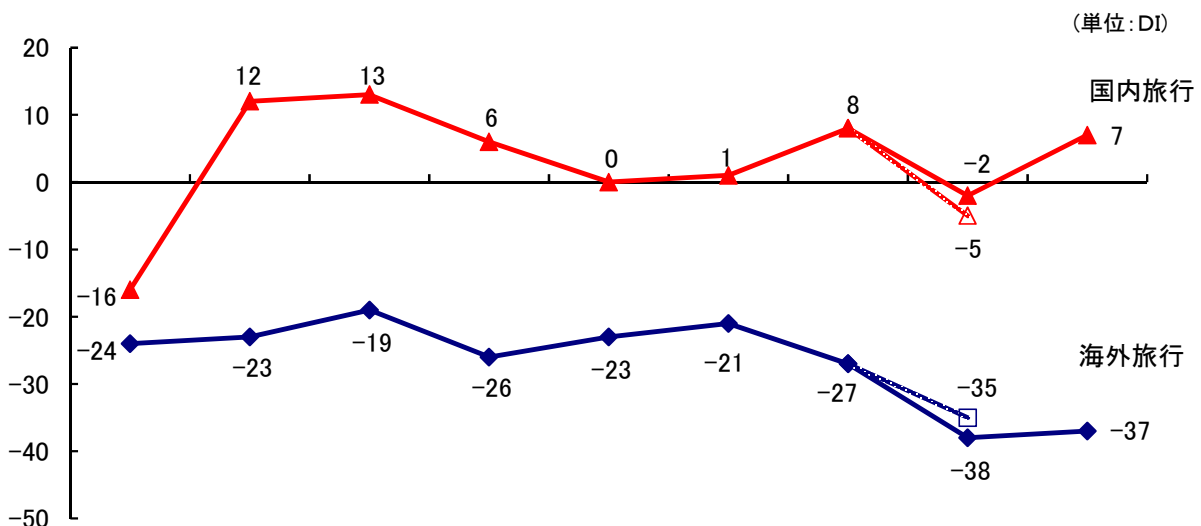
- ※韓国に回復への期待感。

●国内旅行DIは、6ポイント下落して-2

- ※2年ぶりにマイナスに転じるも、悪化の幅は見通しを下回る。
- ※京阪神(9)は12ポイント下落も、東京(8)とともにプラスを維持した。
- ※団体は改善が続いていたが、反落した。

3カ月後は、今回の下落を取り戻す動きへ。

- ※北陸新幹線開業で、需要創出に大きな期待。



	2年前 (1~3月)	1年半前 (7~9月)	1年 3カ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)
海外旅行 全般	-24	-23	-19	-26	-23	-21	-27	-38 ※-35	-37
国内旅行 全般	-16	12	13	6	0	1	8	-2 ※-5	7

※2014年12月期調査見通し数値

■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、E-mail会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった595社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）への回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。

D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： J A T A 会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2015年2月9日（月）～2月25日（水）
設定数	： 595社
回収数	： 325社
回収率	： 54.6%

◆業態別区分について

「旅行市場動向調査」では、各業況を業態別に分析しています。
各業態の定義と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっています。

業態名	定義	件数
総合旅行会社	全国にネットワークを持ち、全分野に商品を持つ大規模な旅行会社	36
海外旅行ホールセラー	海外旅行を専業とするホールセラー会社	24
海外旅行系旅行会社	旅行業の取扱額が50億円以上で、うち海外旅行の取扱額が80%以上の旅行会社	17
国内旅行ホールセラー	国内旅行を専業とするホールセラー会社	12
リテラー1	上記以外で旅行業の取扱額が30億円以上の旅行会社	31
リテラー2	上記以外で旅行業の取扱額が30億円未満の旅行会社	144
インハウス	親会社の業務渡航などを中心に行っている旅行会社	61

この資料についてのお問合せは、JATA広報室までお願いします。
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。

■海外旅行全般の業況について

**現況は、見通しを3ポイント下回って、-38へ下落。
ヨーロッパが9ポイントの続落、商用・視察が14ポイント下落など、比較的上位のセグメントに弱さ。
3ヵ月後は、低位ながらも韓国には明るい兆しを指摘する声。踊り場へ。**

総 合

底を確認する動き。見通しを下回って11ポイント下落して-38へ。ヨーロッパ(-39)の下げが止まらず、6ポイント上昇したオセアニア(-39)と並ぶ。ハワイ(-11)、アジア(-13)は安定して推移、中国(-73)、韓国(-72)については緩慢だが回復は継続。顧客層別では、商用・視察(-23)の14ポイントの下げが目立ち、インセンティブ(-39)、シニア(-23)なども続落する一方、学生(-49)は7ポイントの上昇。

現況(1～3月) 前回見通しには届かず厳しい結果に。過去の不振を回復する動きが一部にみられる。

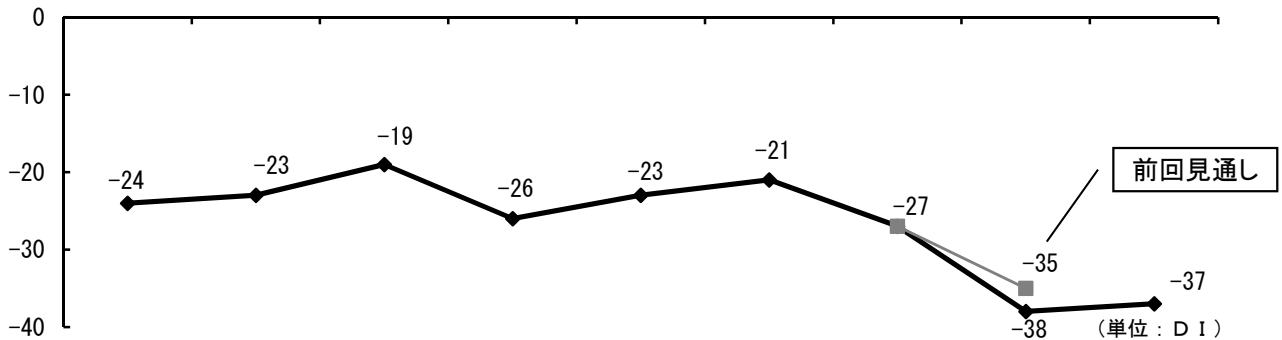
- ・円安の影響に加え、テロ等マインドが冷え込む要因が多数。但し、原油価格の急落により、燃油サーチャージが下がることでの需要増加を期待したい。(第1種/リテラー1)
- ・1月初旬のパリ襲撃事件までは、ヨーロッパ方面が好調だった。台湾など好調な方面は、昨年よりインバウンド・アウトバウンド両方が好調のため、航空座席の確保が厳しく量販できない。(第1種/総合旅行会社)
- ・相変わらず中国、韓国は低調。代わりに台湾の引き合いが多い(第1種/インハウス)
- ・海外旅行全般は3ヵ月前(10～12月)より11ポイント下落し、-38。

3ヵ月後(4～6月)の見通し 韓国の動きに期待感。

- ・燃油サーチャージが下がるなどの多少の好転の兆しも。アジアではタイも昨年の政情不安による影響からは少しずつ回復傾向。中国・韓国ともに需要はなかなか回復していないが業界全体でも需要回復のための対策を実施しており、一定の回復を期待している。(第1種/総合旅行会社)
- ・中国は相変わらず低空飛行状態だが、韓国の問い合わせが少しずつ増えてきた感じがする。(第2種/リテラー2)
- ・安全面からオセアニアを推奨していく。(第3種/インハウス)
- ・3ヵ月後(4～6月)は1ポイント上昇し、-37。

N:有効回答数
(N=294)

(単位: D I)



※2014年12月期調査見通し数値

	2年前 (1～3月)	1年半前 (7～9月)	1年 3ヵ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)
海外旅行全般	-24	-23	-19	-26	-23	-21	-27	-38 ※-35	-37
総合旅行会社		-26	-26	-20	-33	-31	-34	-56	-44
海外旅行ホールセラー		-37	-21	-53	-50	-50	-50	-74	-65
海外旅行系旅行会社		-6	22	-10	-11	15	26	6	-11
リテラー1		-40	-24	-16	-14	-4	-42	-64	-71
リテラー2		-25	-24	-31	-27	-30	-38	-37	-38
インハウス		-2	-8	-11	-2	0	2	-16	-13

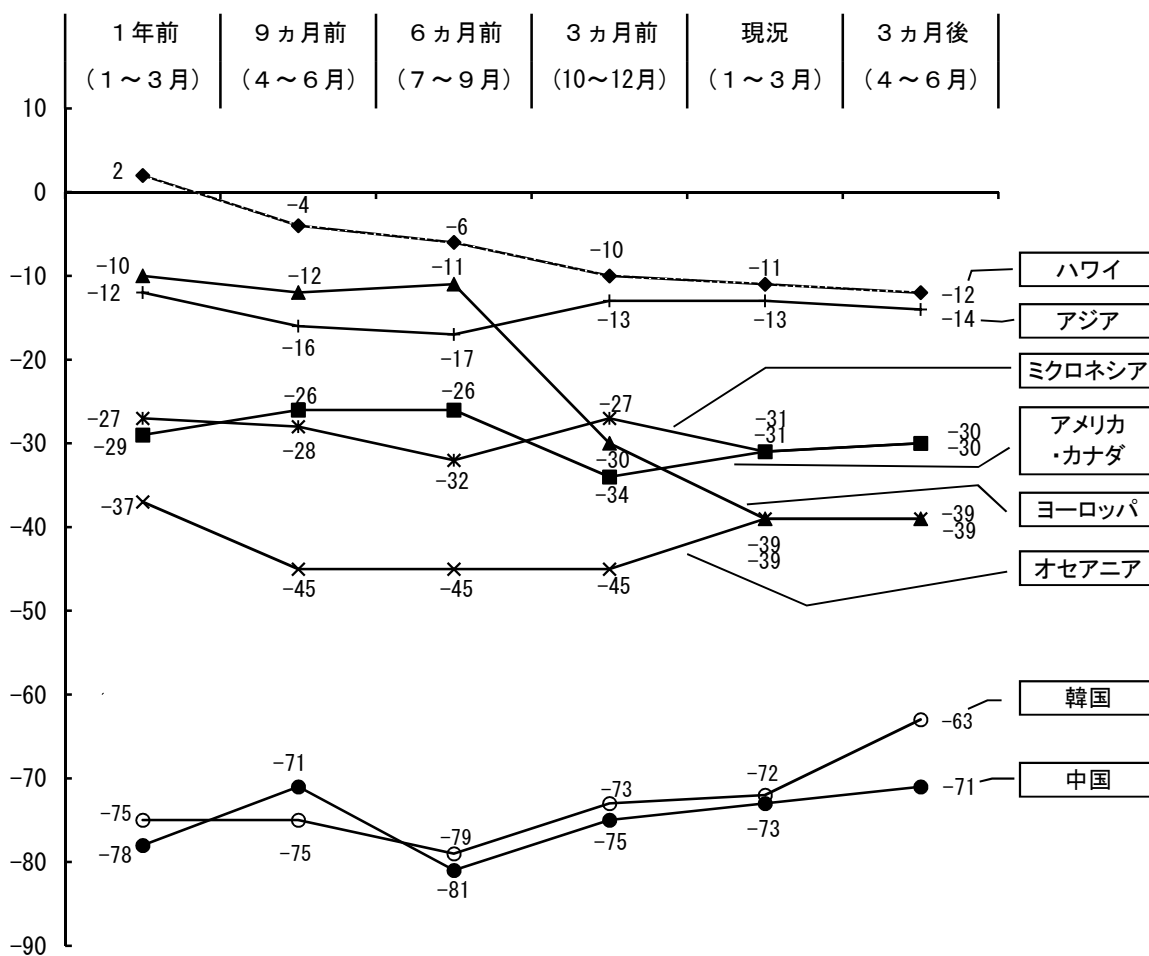
◆海外旅行の需要動向（方面別）

現況は、ヨーロッパが2期連続の減少でオセアニアと並ぶ。
 ミクロネシアが反落も、オセアニア、アメリカ・カナダなど緩やかな回復をみせる方面も。
 3ヵ月後は、全体に動意が薄いなかで、韓国の動きに注目。

- ・ 現況は3ヵ月前(10～12月)に比べ、ヨーロッパ(9ポイント減)とハワイ(1ポイント減)が2期連続して下落がみられたものの、ミクロネシア(4ポイント減)が反落した以外は、オセアニア(6ポイント増)、アメリカ・カナダ(3ポイント増)、中国(2ポイント増)、韓国(1ポイント増)など4方面で緩やかに回復をみせた。アジアは変わらず。
- ・ 3ヵ月後(4～6月)は、ヨーロッパとオセアニアの2方面で変わらないなど、全体に動きが少ないなか、韓国(9ポイント増)の動きが目立つ。中国(2ポイント増)、アメリカ・カナダ(1ポイント増)、ミクロネシア(1ポイント増)と4方面で増加。ハワイ(1ポイント減)、アジア(1ポイント減)の2方面で減少。

N: 有効回答数
 (N=294)

(単位: D I)



(単位: D I)

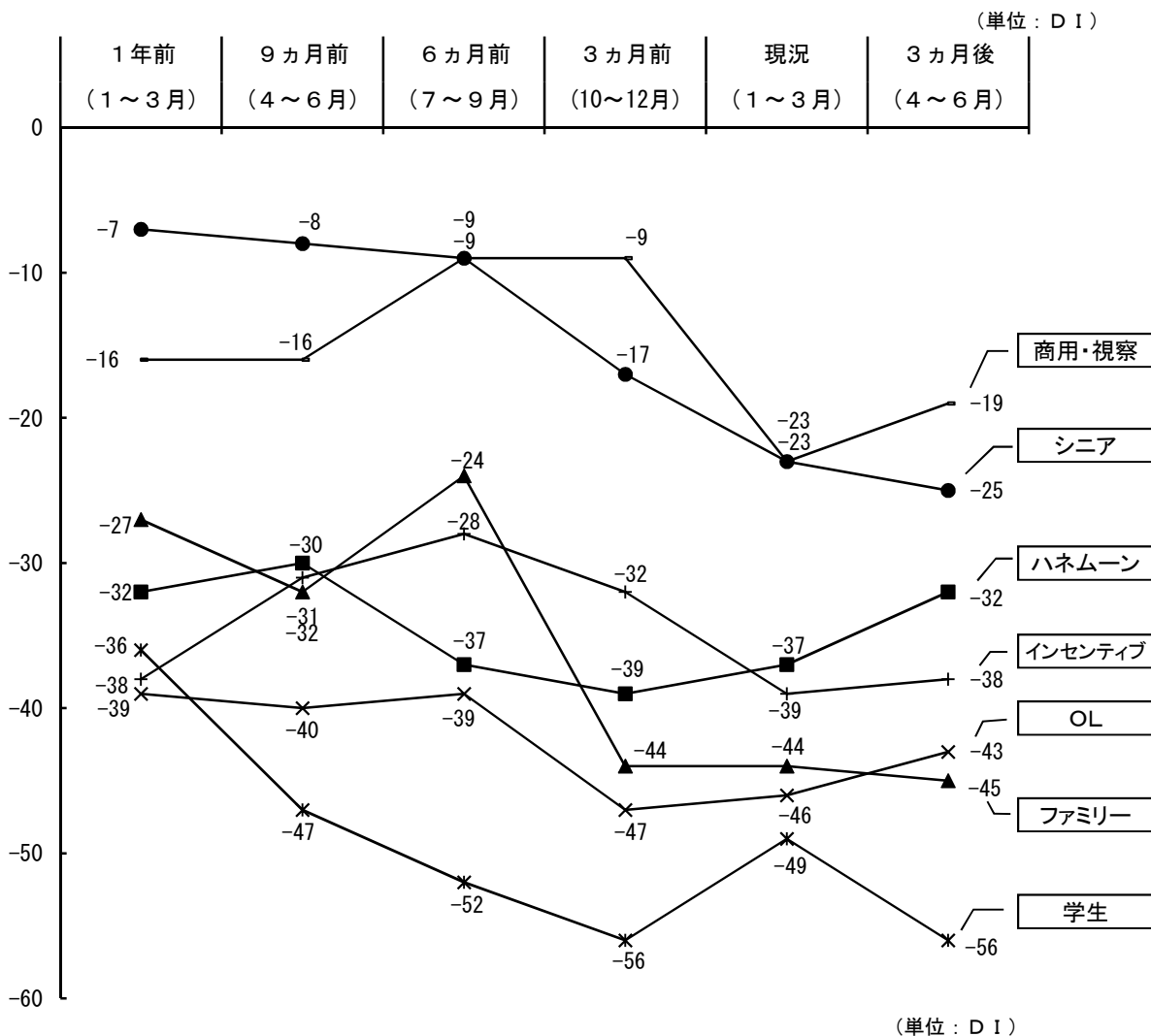
	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)
ハワイ	2	-4	-6	-10	-11	-12
アメリカ・カナダ	-29	-26	-26	-34	-31	-30
ヨーロッパ	-10	-12	-11	-30	-39	-39
オセアニア	-37	-45	-45	-45	-39	-39
ミクロネシア	-27	-28	-32	-27	-31	-30
中国	-78	-71	-81	-75	-73	-71
アジア	-12	-16	-17	-13	-13	-14
(うち 韓国)	-75	-75	-79	-73	-72	-63

◆海外旅行の需要動向（顧客層別）

現況は、前回上位の商用・視察、シニア、インセンティブで下落。
 学生には動きを感じるものの、その他は横ばい。
 3ヵ月後は、緩やかな回復を期待するものの、シニアは続落。

- ・ 現況は3ヵ月前(10～12月)に比べ、前期上位の商用・視察(14ポイント減)、インセンティブ(7ポイント減)、シニア(6ポイント減)で下落する一方、前期下位の学生(7ポイント増)、ハネムーン(2ポイント増)、OL(1ポイント増)などで増加。ファミリーは変わらず。シニアが続落。
- ・ 3ヵ月後(4～6月)は、ハネムーン(5ポイント増)が続伸するほか、商用・視察(4ポイント増)、OL(3ポイント増)、インセンティブ(1ポイント増)と続き、その他は、学生(7ポイント減)が反落、シニア(2ポイント減)が続落、ファミリー(1ポイント減)など。

N:有効回答数
(N=294)



	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)
ハネムーン	-32	-30	-37	-39	-37	-32
ファミリー	-27	-32	-24	-44	-44	-45
OL	-39	-40	-39	-47	-46	-43
学生	-36	-47	-52	-56	-49	-56
シニア(*)	-7	-8	-9	-17	-23	-25
インセンティブ(**)	-38	-31	-28	-32	-39	-38
商用・視察	-16	-16	-9	-9	-23	-19

*「シニア」:60歳以上の顧客

**「インセンティブ」:企業・団体等が従業員への報奨として提供する旅行

■国内旅行全般の業況について

現況は、見通しを3ポイント上回るも2年ぶりのマイナスへ。
 団体旅行は総じて弱含み、個人旅行ではシニアの強さは変わらず。
 3ヵ月後は、上昇に転じて、現況の下落を取り戻す動きへ。

総合

国内旅行は、前回の見通しを3ポイント上回るものの、10ポイント下落して(-2)。2年ぶりのマイナスへ。方面別には、静岡(-23)が微増したものの、総じて下落がみられ、プラスを維持したのは大都市圏の東京(+8)、京阪神(+9)の2方面へ半減した。団体旅行が全般に弱含むも、個人旅行には大きな変化はみられない。シニア(+12)は微減も、プラスを維持した。

現況(1～3月) 団体旅行が弱含み。2年ぶりのマイナスへ。静岡のみ微増。

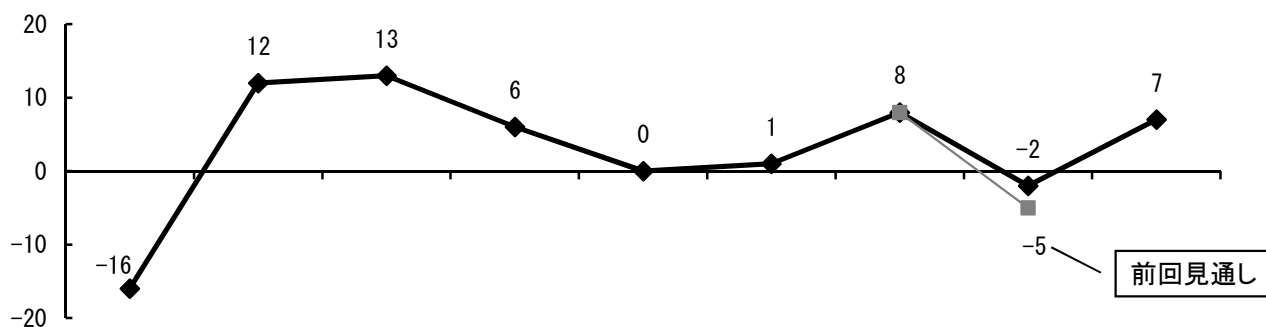
- ・貸切バスの値上げに伴い、団体の動きが全国的に鈍い。(第1種/国内旅行ホールセラー)
- ・海外旅行離れが、国内旅行の需要増加を生みだしている。(第3種/リテラー2)
- ・北陸新幹線の開通で国内旅行に目を向けている人が多いため(第2種/インハウス)
- ・国内旅行全般は3ヵ月前(10～12月)より10ポイント下落し、-2。

3ヵ月後(4～6月)の見通し 北陸に大きな期待。前期の下落を取り戻す動きへ。

- ・4月からの高野山ご本尊特別開帳・姫路城新天守閣オープン・北陸新幹線開業など今年は目玉イベントが多く好調な予約となっている。(第1種/総合旅行会社)
- ・北陸新幹線開業を契機に、首都圏・北陸相互に集客が伸び始めている(第1種/総合旅行会社)
- ・外国人訪日客の増大と国内需要とで、施設(ホテル、バス)がシーズンによっては不足している。(第1種/総合旅行会社)
- ・3ヵ月後(4～6月)は9ポイント上昇し、+7。

N:有効回答数
(N=222)

(単位: D I)



(単位: D I)

	2年前 (1～3月)	1年半前 (7～9月)	1年 3ヵ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)
国内旅行全般	-16	12	13	6	0	1	8	-2 ※-5	7

※2014年12月期調査見通し数値

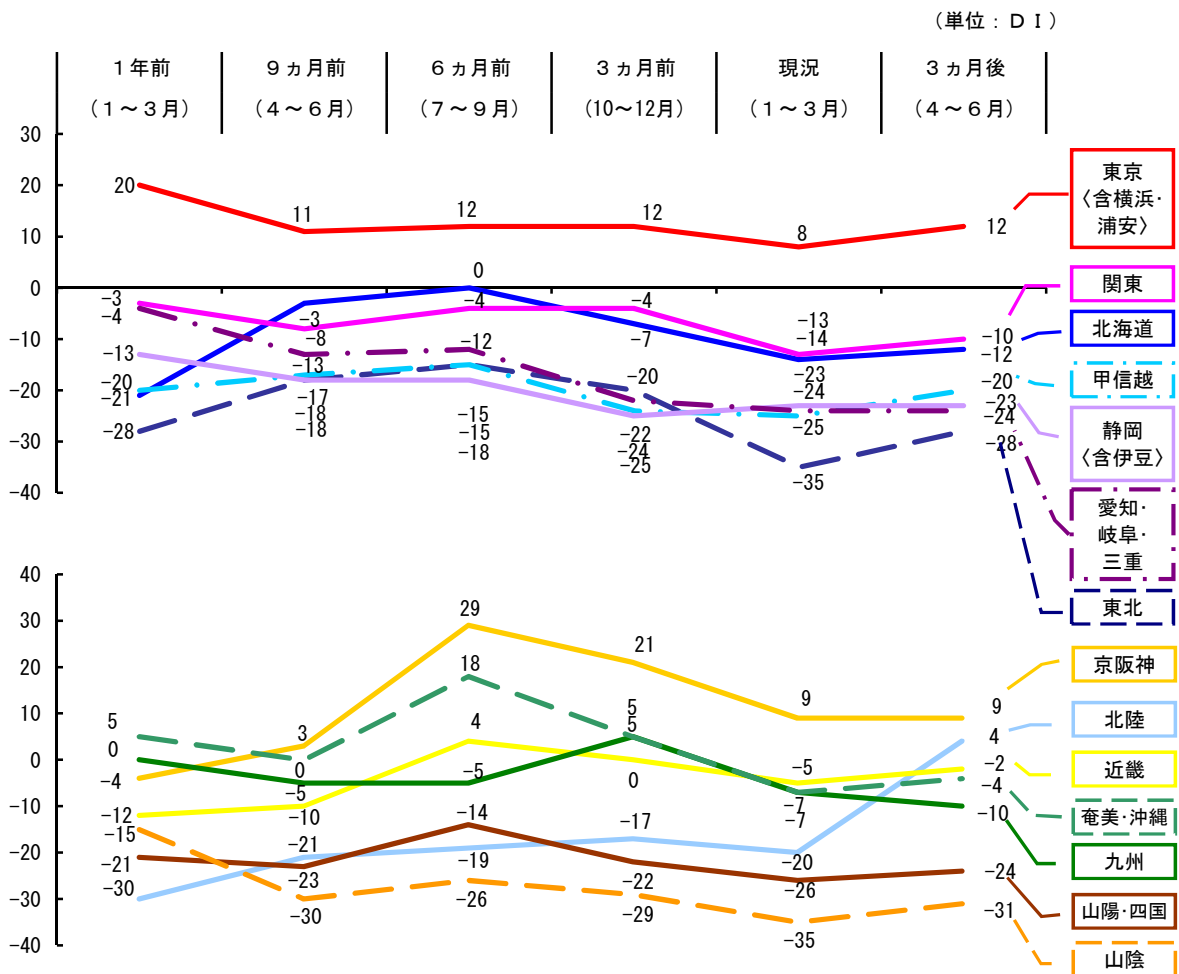
	1年半前 (7～9月)	1年 3ヵ月前 (10～12月)	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)
総合旅行会社	53	52	44	6	10	0	15	33
国内旅行ホールセラー	29	9	20	7	-10	-9	-40	-10
リテラー1	28	8	19	-5	22	24	12	24
リテラー2	-9	6	-7	-4	-5	7	-9	-3
インハウス	22	14	-6	0	2	9	-2	3

◆国内旅行の需要動向（方面別）

現況は総じて下落傾向も、京阪神、東京の2方面でプラスを維持した。上昇は、静岡のみ。
3ヵ月後は、北陸が大幅に改善してプラスに転じるほか、総じて上昇傾向へ。

- ・ 現況は3ヵ月前(10～12月)に比べ、前回の見込みどおり静岡(2ポイント増)以外の13方面で減少。東北(15ポイント減)、京阪神(12ポイント減)、九州(12ポイント減)、奄美・沖縄(12ポイント減)で二桁減のほか、関東(9ポイント減)、北海道(7ポイント減)、山陰(6ポイント減)、近畿(5ポイント減)、東京(4ポイント減)、山陽・四国(4ポイント減)、北陸(3ポイント減)、愛知・岐阜・三重(2ポイント減)、甲信越(1ポイント減)と続く。
- ・ 3ヵ月後(4～6月)は、北陸(24ポイント増)が大幅に増加してプラスに転じるほか、東北(7ポイント増)、甲信越(5ポイント増)、東京(4ポイント増)、山陰(4ポイント増)、関東(3ポイント増)、近畿(3ポイント増)、奄美・沖縄(3ポイント増)、北海道(2ポイント増)、山陽・四国(2ポイント増)と増加が続く。減少は九州(3ポイント減)のみ。静岡、愛知・岐阜・三重、京阪神で変わらず。

N: 有効回答数
(N=222)

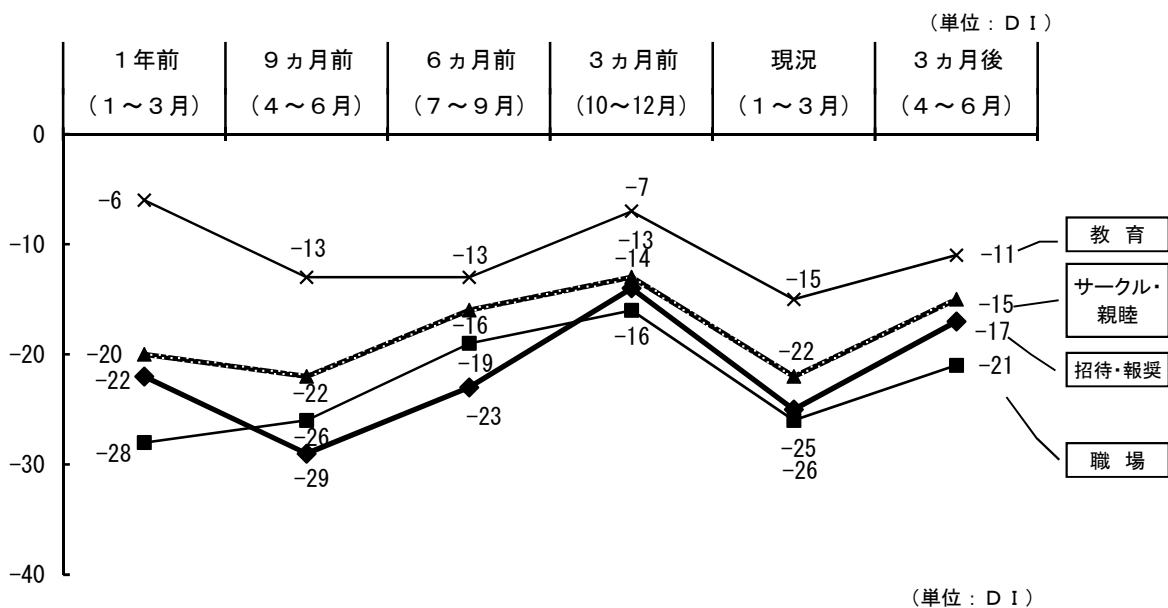


	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)
北海道	-21	-3	0	-7	-14	-12
東北	-28	-18	-15	-20	-35	-28
東京<含横浜・浦安>	20	11	12	12	8	12
関東	-3	-8	-4	-4	-13	-10
甲信越	-20	-17	-15	-24	-25	-20
静岡<含伊豆>	-13	-18	-18	-25	-23	-23
愛知・岐阜・三重	-4	-13	-12	-22	-24	-24
北陸	-30	-21	-19	-17	-20	4
京阪神	-4	3	29	21	9	9
近畿	-12	-10	4	0	-5	-2
山陽・四国	-21	-23	-14	-22	-26	-24
山陰	-15	-30	-26	-29	-35	-31
九州	0	-5	-5	5	-7	-10
奄美・沖縄	5	0	18	5	-7	-4

◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、全ての区分で下落した。招待・報奨(11ポイント減)、職場(10ポイント減)、サークル・親睦(9ポイント減)、教育(8ポイント減)
- ・ 3カ月後(4～6月)は、反転して全ての区分で上昇する。招待・報奨(8ポイント増)、サークル・親睦(7ポイント増)、職場(5ポイント増)、教育(4ポイント増)

N: 有効回答数
(N=222)

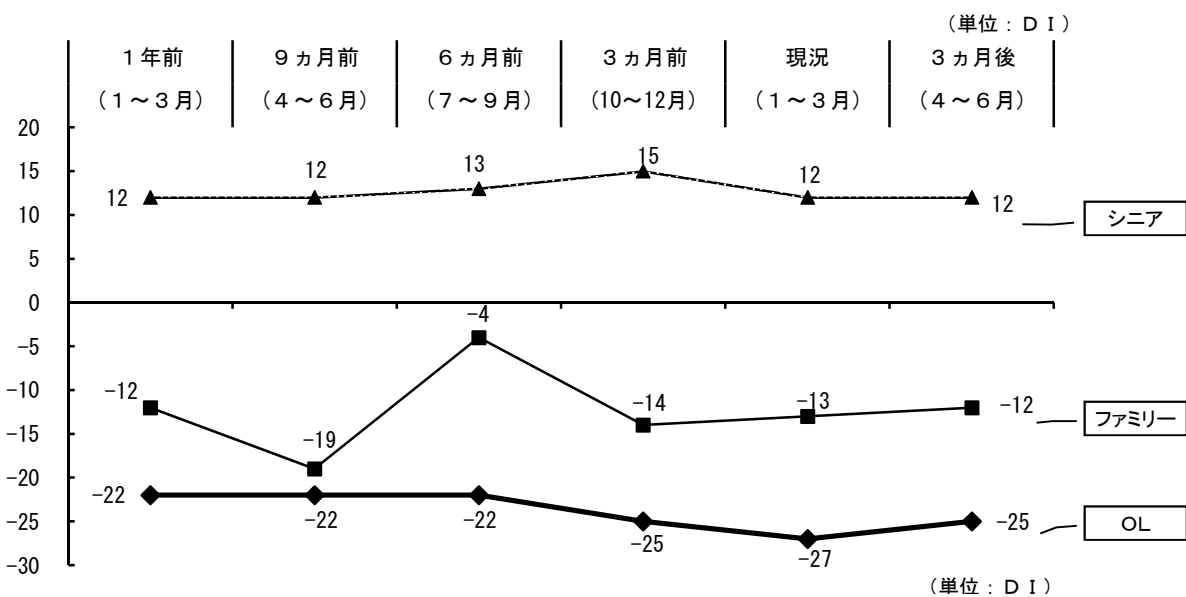


	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)
招待・報奨	-22	-29	-23	-14	-25	-17
職場	-28	-26	-19	-16	-26	-21
サークル・親睦	-20	-22	-16	-13	-22	-15
教育	-6	-13	-13	-7	-15	-11

◆国内旅行の需要動向（個人観光旅行）

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、ファミリー(1ポイント増)のみ微増。シニア(3ポイント減)、OL(2ポイント減)が微減で、大きな動きはない。
- ・ 3カ月後(4～6月)は、シニアが変わらずで二桁のプラスを維持する。OL(2ポイント増)、ファミリー(1ポイント増)が微増する。

N: 有効回答数
(N=222)



	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)
OL	-22	-22	-22	-25	-27	-25
ファミリー	-12	-19	-4	-14	-13	-12
シニア(*)	12	12	13	15	12	12

*「シニア」: 60歳以上の顧客